



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第28号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2006年4月1日号, No. 28

第28号の目次

- 1、2005年度総会報告 (2006.2.5) …太田隆行
- 2、防災ギャザリング報告 (2006.1.14-15) …太田隆行
- 3、のりだーのコラム …手塚則生
- 4、編集後記

2005年総会報告

2006. 2. 5

太田 隆行



←2006年度代表

井上哲也

去る2月5日、神奈川RB第8回総会が神奈川県民活動サポートセンターで行われました。前年度副代表太田の進行で始まった総会は来賓の伊勢原市消防本部落合課長、他県RBより埼玉RB

谷内副代表、栃木RB滝野代表を迎えて行われました。西山事務局長による2005年度活動報告、西山事務局長、会計担当太田より報告の2005年度会計報告も満場一致で承認されました。同じく事務局より提案の2006年度活動計画及び予算案についても満場一致で承認されました。新年度役員についても事務局案に異論はなく満場一致で承認されました。

←埼玉RB 谷内副代表



昨年に引き続き代表となった井上哲也より「これまでの災害支援の活動を通じてRBメンバーは各個人の深い人生経験を持った。また活動時必要なスキル、装備も確認が出来た。この経験をメンバー間で共有することが団体の進歩につながる。またRBの成り立ち、神奈川の活動の方向性について、無理をせず、息長く続けていける活動を。また行政と一般ボランティアの関係、有事の際のボランティアとしての神奈川RBのスタンスについて」など熱のこもった挨拶がありました。

また前記来賓の方々よりご祝辞や今後の活動への期待などお言葉を賜り総会は無事に終了しました。

↓伊勢原市消防本部 落合課長



新年度の主な役員、リーダーは下記の通りです。

代表	井上哲也
副代表	神林邦彦
同	矢代幸雄
同	後藤猛
同	沢田健介
事務局長	西山圭
会計監査兼震災活動研究分科会リーダー	山田泰
会計監査	梶エミ子
バイク分科会リーダー	夏賀英樹
情報通信分科会リーダー	沢田健介
救急救命分科会リーダー	河内善徳
webチームリーダー	渡部祐史
北部地区リーダー	渡辺和也
東部地区リーダー	夏賀英樹
南部地区リーダー	手塚則生
西部地区リーダー	永山充



また、総会後は恒例となった新年会が行われました。これも恒例となりました「やきとりゆう」で栃木RB滝野代表の乾杯が始まりました。

←栃木RB・滝野代表

支援活動等の情報交換他、様々な話題で盛り上がり親睦を深めました。懇親会中、震災時活動研究分科会、山田リーダーより今期の方針について話がありました。



骨子は蓄積したノウハウの活用と拡張。

←山田リーダー

そのために平常時に行うべき周到な準備ということで震災時活動拠点の確認、地区活動の見直し、分科会

活動への課題の提案、行政窓口の確認など多岐にわたり詳細な説明がありました。



新年会後の集合写真

防災ギャザリング報告

2006. 1. 14-15

太田 隆行

去る1月14日-15日と防災ギャザリングが行われました。防災や災害時の支援ボランティアが集うこの催しもすっかり定着した感がありますが、神奈川RBも団体紹介という目的で二日間参加いたしました。

永野夫妻（両側）と展示バイクの持ち主、大谷さん↓



今回は団体紹介という目的から昨年度入会の大谷さんによるバイク展示をはじめ、パネルや実際支援活動で使用した資機材を展示し臨場感溢れる中で説明を行いました。寒い中ですが多くの方々からRBのブースを訪れてくださり、有意義なものとなりました。

しかしながら、震災から10年余りを経て年々その規模や参加者数などは縮小しているようにも感じました。しかしながら徐々に会うことのできたボランティア仲間や冬でバイクから遠ざかっていた RB メンバーとも再会を果たしたりでそれだけでも成果と感じました。

今回は展示バイクが皆さんの目を惹いたのか、様々なメディアから取材を受けることもありました。

翌朝の朝日新聞には神奈川RBの名称こそ出ておりませんが活動内容や展示について紹介がありました。

インターネットラジオの1局からは、矢代副代表が RB の活動について取材されています。

こうした展示は今後も色々なところであると思いますが、RB の存在を知っていただくだけでなく、メンバー同士の交流の場としても活用したいと思いました。

のりだーのコラム

「知れば知るほど」の巻

2006. 3. 20

手塚剛生

今僕はトラックに乗る仕事をしています。まあ普通免許でも乗ることのできる2トン車なのですが。

バイクは相変わらず中型限定の僕ですが、実は4輪では大型免許をペーパ一状態ながら持っているので「普通免許で乗れるんだから…」と、最初はこの乗り物を甘く見て居た所があります。

経験のない物は本当に解りませんね。当然ですが。



10代でバイクに乗り始めた頃は、4輪車の事を全く解っていませんでした。バイクがあまりに楽しかった為に20歳になるまで普通車の免許を取りたいと思わなかった僕でした。

そのバイク専門の数年間で何度も4輪車を相手に事故を繰り返しました。良く今まで生きて来たと思うほど。バイク仲間にする「当たり屋」などと呆れられる程でした。

それほど無茶な走り方をしていたとは思って居なかったのが恐ろしい話。ところが普通車の免許を取ってからはそれまでが嘘の様にバイクでの事故を起こさなくなりました。単に神様の気まぐれで幸運な時期が訪れただけなのか知りませんが、自分の運転の何かが変わったと言う意識もないのです。でもきっと4輪車の事を何も知らなくて、相手の動きを予想したりする事が出来なかったんですね。神奈川RBの皆さんの殆どは、バイクと4輪車の両方に乗ると思うのでこの点は安心かなと思います。

でもトラックはどうですか？運転経験のある方がどのくらい居ますか？前置きが長くなりましたが、今回のお話はここから。

僕はとにかくトラックに乗って発見がたくさんありました。特にバイクとの関係で。

「ああ、今までトラック相手の事故に遭わなかったのが不思議だ」と思うほど。「トラックには死角が多いと言う話かな？」と思った人。僕の言いたい事は違います。確かにバイクは小さな乗り物ですから、その事による事故もあるでしょう。でもトラックには、投影面積の広いサイドミラー・足元も映るアンダーミラー。そして最近では、箱型の荷台でも広角バックカメラで真後ろも良く見えるトラックも多いのです。

後方についた時に扉の面の真上を見てください。小さな四角いカメラが付いている車が多いです。むしろトラックは乗用車よりも周囲が良く見える気がします。でもなるべく“死角”や運転者がその時に何に注意を払っているかと言う事は想像して走って頂きたいのは言うまでもありませんが。

いや「死角が恐ろしい」事は正しいです。でも僕は“バイクからの死角”に注意して頂きたいのです。これは法律上どうかと言う点で、少々口籠もってしまう事でもありますが、バイクはすり抜けをしてしまう乗り物である事は否定できないと思います。どんなライダーでもすり抜けをする時には色々な危険を想像して居ると思います。できれば信号待ちや渋滞で完全に静止している車列の横をゆっくりすり抜けたい。

でもなかなかそう言う好条件(?)の場合だけではないのが難しいですね。すり抜け中に車列が動き出したり、車列に戻りたい時にも間に割り込ませて貰えなかったり、しばしば並走状態を強いられる事も多いです。そんな時のトラックとの並走に要注意。

トラックはその長い車体の後端まで見る事ができる様に、サイドミラーの張り出し幅が大きいです。

そしてそのミラーはトラックの命と言っても過言ではない事は、上に書いた死角の解消の為であると判りいただけるでしょう。

「とにかくミラーをぶつけない。」

同じ車高でミラーの高さが同じトラック同士が並走したり、すれ違ったりする時、運転手はまずミラーの接触を避ける為にハンドルを切ります。時にそれは急激に。車が長い場合はハンドルの切り幅が大きくなる事もあります。もしもその時バイクが逆側を並走して来たらどうなるか。

バイクからは反対側に別のトラックが居る事が見えない場合が殆どでしょう。すぐ横に居るトラックが急に寄ってくる。これはとても危険です。

そしてもう一つ、これは別のお話。

右・左折待ちのトラックが目の前に居る場合、その横を走り抜ける時には大きな位に安全な距離を取ってください。トラックはその長い車長でも最大限に旋回半径を小さくするために、後輪から車体後端までのリアオーバーハングが長くなっています。

ゆるやかにハンドルを切って行ける場合にはあまり問題ないのですが、鋭角な曲がり角などで深く大きくハンドルを切った時に、このリアオーバーハングが張り出して来て接触する危険があります。

昔から言われつづけてきた内輪差による左折巻き込みの危険などは皆さん既にご承知でしょうが、この外側へのオーバーハング張り出しの危険は意外と知られていないのではないのでしょうか。

運転手も生活が掛かっているので絶対に事故は起こしたくないと思って走っています。

しかしこの混合交通の中では幾ら自分が気をつけていても相手側の知識や意識の程度によっては不幸な事故が起きてしまいます。

知らない乗り物を相手に勝手な思い込みは禁物です。常に“予想外”を予想

したいものです。

そして機会があれば、様々な未知の乗り物の特性などを知っておきたいものですね。

■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

【その他のイベント】

運営ミーティング 3/5

ボランティアのための救護法研修会・1/17、2/21、3/21

- - ! ! お知らせ ! ! - -

★神奈川IRB携帯電話用サイト開設中★

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/vodafone/EZweb の各形式対応)

編集後記

桜の季節。新入生、新入社員が町を闊歩していて気持ちが良いですね。今年は寒さのせいかわれ年になく桜を見られる時間が長かったですね。仕事の忙しさに感えて会報発行が遅くなってしまいました。関係者の方々には深くお詫び申し上げます。

これからはツーリングに最高のシーズン。皆さんの楽しい投稿もお待ちしております。

(お)

神奈川IRB事務局

代表: 井上哲也、事務局長: 西山圭(旧姓辻谷)

郵送先: 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

URL: <http://www.kanagawarb.org/>

バイクによる災害時救済活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

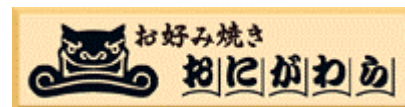
発行者: 神奈川IRB会報担当 太田隆行

□■□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

神奈川IRB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行きましょう!

但し冬期は中島さんが修行と研究の為休業の期間があります。

営業を確認の上お出かけください。



関西風・広島風 お好み焼き お「に」が「わ」ら

店主: 中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel: 0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業)上

記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00(火・水定休)

※お「に」が「わ」らでは新メニューを用意して皆様のお出でをお待ちしています。

※念の為営業を確認の上お出かけください。